

令和3年度吉野ネットワーク交流事業

記入例

助成事業（学術研究の部）

応募書類（1）

次年度に研究機関への所属が無い場合でも応募には差し支えありません。ただし、グループ活動の場合、所属の如何に拘わらず、活動の代表者を途中で変更することはできません（やむを得ない事由と実施者が認める場合を除く）。また、応募者（グループ研究の場合は代表者）の所属、連絡先が変更になった場合は、所定の様式によってすみやかに申し出なくてはなりません。

1, 応募する単位*1	☐ 個人 ☒ グループ（学部生のみ）
2, 応募者氏名（よみ） （1, で グループ を選んだ場合は代表者氏名 *2）	吉野 作造（よしの さくぞう）
3, 2022 年度の応募者の所属予定見込み （1, で グループ を選んだ場合は代表者所属予定）	☐ 研修会申込時の所属機関と同じ ☒ 研修会申込時の所属機関とは異なる （ 現所属機関の大学院に進学予定 ）
4, 応募者連絡先 （1, で グループ を選んだ場合は代表者連絡先）	Tel 0229-23-XXXX Mail@yoshino.ne.jp 住所 〒989-6105 宮城県大崎市古川福沼〇-△-×
5, グループメンバーの氏名・所属（学年） *3 （1, で 個人 を選んだ場合は記入の必要はありません）	
氏名（よみ）	所属・学年
吉野 信次（よしの しんじ）	吉野作造大学大学院経済学研究科 博士課程3年
上杉 慎吉（うえすぎ しんきち）	吉野作造大学大学院法学研究科 修士課程2年
有島 武郎（ありしま たけお）	吉野作造大学文学部 4年
与謝野 晶子（よさの あきこ）	歌人

*1 「グループ」を選択できるのは学部生による研究活動のみです。

*2 代表者氏名は、令和3年度人材育成研修会の受講者（全日程）でなくてはなりません。

*3 欄が足りない場合は作り足して下さい。

交付された助成金を直接使用するすべてのメンバー。特に所属が無い場合は、それに代わる内容を記入すること。不明瞭な場合、代表者に照会することがあります。

6, 研究課題名	ヘーゲル哲学と近代の法思想の研究 ー〇〇を中心に
----------	-----------------------------

応募書類（2～4）

省 略

応募書類（5）

10, 申請する助成額 (修士課程—最大 10 万円／博士課程—最大 15 万円)		15	.	0	万円 *4・5
11, 助成額の使途 (予算計画概算) *6					
内 容 *7			金 額		
書籍 (先行研究、資料集など)			5. 0 万円		
文献複写費			1. 0 万円		
〇〇学会 年会費			0. 5 万円		
△△学会研究発表大会 参加費			0. 5 万円		
△△学会研究発表大会 交通費・宿泊費 (2 泊、東京～〇〇往復)			4. 5 万円		
オンライン研究会開催用機材 (web 会議用マイクスピーカーほか)			1. 0 万円		
資料調査 交通費・宿泊費 (東京～△△大学図書館)			2. 5 万円		
			万円		
			万円		
			万円		
合計 *8			15. 0 万円		

*4 申請額は 1 万円単位で、小数第 1 位の値まで記入して下さい。 例) 12.5 万円

*5 応募件数が多かった場合、あるいは書類審査の結果として、申請額通りに交付されないことがあります。

*6 欄が足りない場合は作り足して下さい。

*7 できるだけ具体的に書いて下さい。

例) 研究文献の購入

〇〇〇学会年会費

△△△学会研究発表大会参加費

□□□学会研究発表大会参加のための交通費 (東京～古川往復)

*8 合計金額は「10, 申請する助成額」と同じになるようにして下さい。

応募書類（6）

12, 以下の事項で同意するところにチェック☑を入れ、自筆で署名して下さい。

- ☒ 助成金の使途は応募した学術研究活動に直接資する内容に限ります。
- ☒ 助成金の使途として、人件費、所属機関の一般経費、また飲食に関する費用は認められません。
- ☒ フォローアップフォーラム（オンライン）に参加し、研究成果の中間報告を行います。 *9
- ☒ 活動終了後に成果報告のサマリー（吉野作造記念館研究紀要『吉野作造研究』に掲載）を提出します。 *10
- ☒ 応募者（グループの場合は代表者）の所属、連絡先等が変わった場合は速やかに申し出ます。
- ☒ 活動にあたっては法令その他の社会規範・研究倫理を遵守します。
- ☒ 吉野作造記念館のニューズレター等で行う事業紹介に応じます（個人名を含む）。
- ☒ 以上の誓約の履行について、応募する個人（グループの場合、その代表者）が責任を負います。

すべての事項に同意しないと、
応募されても採用できません。

年月日と氏名は自筆すること。

年 月 日

氏名（自筆）

*9 フォローアップフォーラムは2022年3月に開催予定です。日程は別途調整します。

*10 サマリーの作成・提出方法は、別途定める執筆要綱を確認して下さい。